

はにい

ステキな言葉

平成25年10月16日

(すべて仮名です)

中1、道徳の時間。

「『いのちについて、人それぞれ考え方は違うけど、大切なのは変わらないんだなあ。』って書いてくれた人がいます。露木さん。」

先生が読み始めたのは、前回のみんなの感想です。

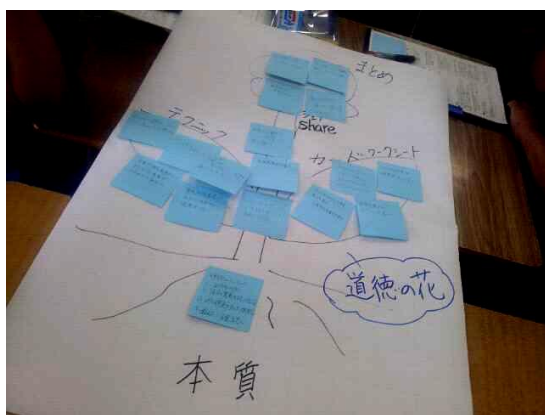
「『僕は、人それぞれが大切な存在なので、平等にしようと改めて思い、心の温かい人間になろうと思った。』という人がいます。斉藤さん。」「おー。」「へえ。」「すごいよ、斉藤。」仲間の反応が温かい。

「『人によって価値観が違うんだってことを改めて思いました。』ってというのは松田さん。」「え？」

本人が照れると、みんなが柔らかい笑いで包みます。

「前回、みんなが書いてくれたものの中から、ステキだなあと思ったものを読みました。では、今日はまず、花の絵を描いてくれるかな。」

和やかな雰囲気の中、道徳の時間がはじまりました。



放課後、参観した先生方の協議では、授業での「ステキな言葉」について話題にしていました。

「『あー、そんな考えもあるんだ』とか『いいねえ、なるほど』とか、自己肯定感を大切にしようとする教師の一言一言が勉強になったなあ。」

「『ステキな』『おしゃしな』など、肯定的に評価する言葉の種類が多かったですよね」

「そう、子どもの反応を否定しない教師のことは、教師の姿勢。」

「そうやって培われた信頼があるから生徒の感想を名前入りで紹介できたりするんですね。」

「そこです。それを『ステキな考え』として公にするとところがすばらしい。」

「自信や認め合いにつながりますよね。」

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』は、
学校が元気になるように…

先生の仕事を受ける

学校に携わる大人たちがしていることを受ける

そして、子どもたちの育ちを受取る

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合きましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp